

事業所名 み・らいず プレイスすみのえ

支援プログラム

作成日

2025 年

3 月

17 日

法人（事業所）理念	<p>こどもも大人も、人を尊重し、一人ひとりの発達を支える場所をつくります。 「お互いが気持ちのいいコミュニケーション」をこどもたちの日常にしていきます。まずは、私たちおとなとこどもたちが話せる関係をつくります。そのためには、保護者のみなさんも安心して私たちに話せる関係をつくります。 こどももおとなも、「世の中って悪くないな」と思えるように、いずれ「そと」に向かう勇気がちょっともてるような経験を増やす支援を行います。</p>		
支援方針	<ul style="list-style-type: none"> ・あいさつや掃除、友だちとの関わり方、意思の表現方法など、集団活動に必要なソーシャルスキルの獲得を目指すプログラムを提供します。進路や将来を決める際には、自分の興味や関心の対象を知り、自ら選択して行動するための支援を行います。 ・人との関わり方を学べるように、少人数のグループクラス制を取り入れて、子ども同士が自然に関われるように、高い専門性を持ったスタッフがサポートします。 ・子どもの成長や個性に合わせて目標を見極めたプログラムを作成し、個人へのアプローチと集団活動での支援を組み合わせ、みんなで楽しく挑戦していく経験を重ねます。 ・子どもにも保護者の方にも、安心して通っていただくために、常に笑顔で迎え、プログラムに集中しつつ心地よく過ごせる環境づくりを目指します。さらに、保育・教育・心理・福祉など専門的な資格や経験をもつスタッフが保護者の悩みにお応えし、園や学校との連携も行います。 		
		送迎実施の有無	なし
営業時間	11 時 00 分から 20 時 00 分まで		9 時 00 分から 18 時 00 分まで
	長時間×個別支援コース		コミュニケーション特化(SST)コース
	支 援 内 容		
本人支援	健康・生活	自身の特性や体調、健康状態を把握し、心身ともに健康に保つために、健康と生活チェック、手洗いうがい、食事などに関する活動を行います。生活リズムづくりに関する相談や計画づくりをします。	自身の特性や体調、健康状態を把握し、心身ともに健康に保つことができるよう支援します。健康状態や調子の確認とそれに合わせて柔軟に必要な対応を行います。身の回りの清潔や時間管理、空間の環境整備を行います。
	運動・感覚	室内や屋外での体を使った遊びや手指を使った活動を行います。感覚特性の自己理解や居場所内外で過ごしやすくする工夫を行います。	プログラムを通して、視覚・聴覚・触覚等の感覚を十分に活用できるよう支援します。感覚や認知の特性をふまえて、感覚の偏りに対する環境調整等の支援を行います。日常生活に必要な動作の基本となる姿勢保持の力をつけられるよう支援します。
	認知・行動	「学びタイム」による学習支援を行います。学習スタイルに応じた指導方法（視覚的、聴覚的、体験的）を取り入れ、子どもたちが理解しやすい形で説明します。子どもの認知の特性にあわせて、行動の理由と気持ちを考える時間をつくります。	認知の特性をふまえて、自分に入ってくる情報を適切に処理できるように支援します。認知の偏り、コミュニケーションの困難性から生じる行動障害の予防、及び適切行動への対応の支援を行います。自分の得意・不得意を知り、気持ちの整理の仕方や対処法を学べるよう支援します。
	言語コミュニケーション	遊びを通して言葉を増やす、気持ちを想像する活動を行います。「こんな時どうする？」という状況に応じた伝え方や内容のコミュニケーション支援を行います。	話し言葉や文字、記号を用いて、相手の意図を理解したり、自分の考えを伝えたりするなど、言語を用いて気持ちを表出する支援を行います。プログラムや集団遊び、自由時間を通して、他者と円滑にコミュニケーションが取れるスキルを身につけられるよう支援します。困った時や手伝ってほしい時などの援助要求や自らの思いを発信する方法を学べるよう支援します。
	人間関係社会性	全体活動の時間を通した仲間づくりや体験活動を行います。自分の進路や関心のある仕事などを考え体験するプログラムを行います。	自分のできることできないこと等、自分の行動の特徴を理解するとともに、気持ちや情動の調整ができるように支援します。集団に参加するための手順やルールを理解して、遊びや集団活動に参加できるよう支援します。集団生活の中での周囲の人との距離感や関係性を理解し、集団内での役割や貢献感、他者信頼を持てるよう支援します。
家族支援	定期的に保護者との面談を設け、療育での様子を伝えるとともに家庭での様子を確認し、情報共有を行うことで、親子関係や家庭生活を安定・充実させるよう支援していきます。	移行支援	ライフステージに応じた進路選択に向けて、本人・保護者の意向を確認しながら支援を行います。事業所以外の学校や支援先とも連携して、地域社会への参加を目指します。
地域支援・地域連携	地域の関係機関と情報共有、情報交換を行い、役割分担をしながら他機関とも連携して支援を行っています。	職員の質の向上	月1回の支援者研修と新人研修等各年代に合わせた研修、法人・事業部での講師を招いてのセミナー等を年間通して行っています。また、社会福祉士、精神保健福祉士、保育士、公認心理士や教員免許所持者等を配置し、お互いに学び合い、多角的に支援する体制を作っています。
主な行事等	月に1回程度、季節に合わせたイベント（特別療育）を行っています。社会的・文化的な多様な体験を積み重ねて振り返ることで、自己理解を深めることを目的としています。また、年4回は法人全体のイベントに参加し、普段できないことにチャレンジしたり、親子で楽しむ機会を提供しています。		